

# セントラルFC宮崎



## サッカークラブ 会員募集

|       |                      |                          |
|-------|----------------------|--------------------------|
| スタッフ  | 松崎 博美 (鵬翔高校サッカー部監督)  | 中井 恒 (日本サッカー協会公認1級審判員)   |
|       | 河野 真一 (元 浦和レッズ)      | 上永 智宏 (元 サガン鳥栖トップチームコーチ) |
|       | 宮崎 晋輔 (鵬翔高校サッカー部コーチ) | 大西 健介 (元 ホンダロック)         |
|       | 稲田 義章 (元 鵬翔高校サッカー部)  | 川横 峰大 (元 鵬翔高校サッカー部)      |
|       | 和田 崇臣 (元 鵬翔高校サッカー部)  |                          |
| GKコーチ | 綾 哲一 (元 全日本学生選抜)     | 川添 卓 (元 宮崎産業経営大学サッカー部)   |
| トレーナー | 原田 昭彦 (元ベガルタ仙台理学療法士) | 横田 薫 (野崎東病院 理学療法士)       |



経験豊富なスタッフが指導にあたります！！

セントラルFC宮崎では、サッカーを通して青少年の健全な心身の育成を図ることを目的とします。

心を磨く  
体を鍛える  
脳の活性

- 目標に向かって継続的に努力をして、簡単に諦めずに耐え抜く力を身に付ける。  
(根気強さ、忍耐力、達成感)
- チームスポーツでは、それぞれの役割(ポジション)があり、お互いが協力してチームワークの大切さを学ぶ。(自己犠牲、協調性、コミュニケーションスキル)
- 多くの感動を仲間と分かち合い、感性を高める。(体感)
- 自分を取り巻く環境が、周りの協力によって成り立っていることを理解する。(感謝)

- 定期的に体を動かす機会を作り、健康的な身体を作る。(健康)
- 発育発達の特徴を理解し、その年代で取り組むべきことを、重点的に取り組む。  
(神経系の発達)

### ● ゴールデンエイジ

スキヤモンの発育発達曲線を参照すると、神経系統は生まれてから5歳頃までに80%の成長を遂げ12歳でほぼ100%になる。この時期に神経回路へ刺激を与え、その回路を張り巡らせるために多種多様な動きを経験させる。一度経路が出来上がると、その経路はなかなか消えません。ある一つの課題に対しても、吸収しやすい時期と、しにくい時期が出てくる。最も吸収しやすい時期に、課題を与えていくことが大切である。

### ● 状況判断、駆け引き

サッカーは人(複数)とボールが常に動き続け、全く同じ状況(場面)は有り得ないと言われる。様々な状況が交錯し、5秒後には全く違う状況になっている。その中で常に**状況判断**が求められ、**相手との駆け引き**も必要となる。サッカーは突き詰める程、奥が深い。しかし、誰でも簡単に始めることも出来る。

幼児、小学1年生～6年生、中学1年生～3年生までの会員募集  
私達は夢を抱き、挑戦し続けます。

セントラルFC宮崎のサイトへようこそ!!!

検索

練習(宮崎産業経営大G 他)

月・木 小学生 17:30～  
火・水・金 中学生 18:30～

問合せ 大西 090-4347-9015